
NEWS RELEASE

ナビプラス、クロスボーダーEC分野 及びセキュリティ分野に事業領域を拡大

ナビプラス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役執行役員 CEO：篠 寛、以下：ナビプラス）は本日、親会社であるベリトランス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：篠 寛、以下：ベリトランス）から、同社のクロスボーダーEC 事業を吸収分割により事業承継しました。また同時に、ベリトランス子会社の eCURE 株式会社（以下：eCURE）を吸収合併し、同社の一切の権利義務を承継しました。これらによって、ナビプラスは今後、海外の消費者向けに日本の商品を販売するクロスボーダーEC 分野とセキュリティ分野に事業領域を拡大していきます。

今回ベリトランスから承継したクロスボーダーEC 事業では、主に、BuySmartJapan (www.buysmartjapan.com) を運営しています。BuySmartJapan は、海外消費者から注文を受け付け、日本の EC サイトで販売している商品を代理購入し、海外消費者に配送するサービスです。世界 120 以上の国や地域への配送に対応していることや、中国語（簡体字、繁体字）、英語、韓国語、日本語の 4 言語で表示可能なことが特長で、海外消費者の日本製品への関心の高まりと相まって、現在、取扱高を順調に伸ばしています。ナビプラスは、これまで EC 事業者のマーケティング支援や自社メディア運営を通して培ったノウハウを活用し新たな施策を講じることで、クロスボーダーEC 事業のさらなる拡大を図っていきます。

一方、eCURE を吸収合併した背景には、企業のセキュリティ意識への高まりとともにセキュリティビジネスの急成長が今後見込まれていることがあります。同社はこれまで、SSL サーバ証明書のコピー販売や脆弱性診断サービスの提供によって、主に EC 事業者のセキュリティ支援を行ってきました。eCURE の吸収合併によりナビプラスは、セキュリティ分野にサービスラインナップを拡充します。この結果、従来提供してきたレコメンドサービス等のマーケティング支援サービスと併せて、EC 事業者が必要とするセキュリティ関連のサービスが提供できるようになり、これまで以上に幅広く EC 事業者のニーズに応えていくことが可能となります。

なお、ナビプラスでは、クロスボーダーEC 事業とセキュリティ事業によって今期 1 億円超の売上増加を見込んでおります。

今後も、ナビプラスは、各事業の深耕を図っていくと同時に、各事業とシナジーが高い領域への事業拡大を進めていきます。

【ナビプラスについて】

会社名： ナビプラス株式会社
代表者： 代表取締役執行役員 CEO 篠 寛
本社所在地： 東京都渋谷区恵比寿西 2-20-3 代官山 CA ビル
設立年月日： 2010 年 1 月 21 日
資本金： 2 億 2,000 万円
ホームページ： <http://www.naviplus.co.jp/>

※本プレスリリースに記載されている会社名・商品名・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

NEWS RELEASE

【本件に関するお問い合わせ】

ナビプラス株式会社 広報 Tel : 03-5456-8017 (代表) Email: info@naviplus.co.jp